



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年10月26日

上場会社名 株式会社トーメンデバイス 上場取引所 東
 コード番号 2737 URL <http://www.tomendevices.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 妻木 一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 原 英記 TEL 03-3536-9150
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|-------------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年3月期第2四半期 | 104,886 | 35.9 | 1,502 | 380.2 | 1,307 | 27.8 | 933 | 26.9 |
| 29年3月期第2四半期 | 77,192 | △24.6 | 312 | △76.7 | 1,023 | △11.2 | 735 | △5.3 |

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,069百万円 (110.6%) 29年3月期第2四半期 508百万円 (△40.3%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期第2四半期 | 137.26 | 120.96 |
| 29年3月期第2四半期 | 108.21 | 96.69 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 30年3月期第2四半期 | 74,979 | 27,109 | 36.0 | 3,968.31 |
| 29年3月期 | 70,519 | 26,448 | 37.4 | 3,873.53 |

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 26,990百万円 29年3月期 26,345百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期 | — | 0.00 | — | 60.00 | 60.00 |
| 30年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 30年3月期（予想） | — | — | — | 70.00 | 70.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日（平成29年10月26日）公表いたしました「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|------|-------|------|-------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 190,000 | 21.3 | 2,300 | 83.6 | 2,000 | 18.3 | 1,500 | 21.9 | 220.54 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（平成29年10月26日）公表いたしました「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご参照下さい。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|------------|----------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 30年3月期2Q | 6,802,000株 | 29年3月期 | 6,802,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 30年3月期2Q | 538株 | 29年3月期 | 538株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 30年3月期2Q | 6,801,462株 | 29年3月期2Q | 6,801,512株 |

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 4 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 4 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 5 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 6 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 6 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 6 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 6 |
| 3. 補足情報 | 6 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用環境の改善が続いていることに加え、企業業績においても、堅調な米国、中国経済に牽引されて収益拡大が継続するなど、回復基調で推移いたしました。しかし、欧米や東アジア地域における不確実性の高まりなど、海外では地政学的リスクが顕在化するなどの影響が見られました。

エレクトロニクス業界におきましては、デジタルカメラ、PC市場は不振が続いておりますが、自動車・データセンター向けの半導体需要は着実に拡大しております。また、スマートフォン市場が成熟する中、米国製スマートフォン新機種が正式発表され、有機ELが採用されるなど、更なる市場の活性化が期待されます。

商品価格は、DRAMはサーバー・ストレージ用とモバイル用の需要に牽引され、NANDもスマホメーカーやエンタープライズ向けSSD（ソリッドステートドライブ）の旺盛な需要を背景に、それぞれ高値を維持しておりますが、液晶パネルは、テレビ市場の停滞から下降トレンドとなっております。

このような状況下、当社グループは、国内ではPC、サーバー・ストレージ向けにSSD、スマートフォン向けに有機ELをそれぞれ拡販し、中国市場では、スマートフォン向けにCIS（CMOSイメージセンサ）及びMCP（マルチチップ・パッケージ）の売上を大きく伸ばしたことから、売上高1,048億86百万円（前年同期比35.9%増）、営業利益15億2百万円（同380.2%増）、経常利益13億7百万円（同27.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益9億33百万円（同26.9%増）となりました。

当社は、米ドル建ての外貨建取引については、為替予約により為替相場の変動リスクを回避しております。為替相場が急速に変動した場合、仕入と売上の計上時の為替レート差が生じ、円高の場合は、売上総利益、営業利益は減益に、円安の場合は増益になります。しかし、営業外収益にて見合いの為替差損益が発生することにより、経常利益においては、概ね、契約時点で見込んだ利益額が計上されます（当社は、「金融商品に関する会計基準」における原則的なヘッジ会計を適用しており、特例としての振当処理は行っておりません。）。

なお、前年同期は、急速な為替相場の変動による為替リスクのヘッジ効果等として為替差益7億19百万円が計上されております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産の残高は749億79百万円（前連結会計年度末比6.3%増）となりました。これは主に受取手形及び売掛金の増加、商品の増加および預け金の減少によるものです。

負債は478億69百万円（同8.6%増）となりました。これは主に買掛金の増加および短期借入金の減少によるものです。

純資産は271億9百万円（同2.5%増）となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上と配当金の支払によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績の動向等を踏まえ、平成29年4月26日に公表いたしました平成30年3月期（平成29年4月1日～平成30年3月31日）の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（平成29年10月26日）公表いたしました「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 990 | 923 |
| 受取手形及び売掛金 | 32,583 | 42,070 |
| 商品 | 11,531 | 19,168 |
| 前渡金 | 7,108 | 2,172 |
| 繰延税金資産 | 210 | 235 |
| 預け金 | 16,869 | 8,725 |
| その他 | 342 | 597 |
| 流動資産合計 | 69,637 | 73,893 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 54 | 54 |
| 無形固定資産 | 42 | 91 |
| 投資その他の資産 | 784 | 940 |
| 固定資産合計 | 881 | 1,085 |
| 資産合計 | 70,519 | 74,979 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 12,641 | 22,183 |
| 短期借入金 | 13,108 | 9,022 |
| 未払法人税等 | 38 | 412 |
| 賞与引当金 | 126 | 102 |
| 未払金 | 17,041 | 14,163 |
| その他 | 759 | 1,613 |
| 流動負債合計 | 43,717 | 47,499 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付に係る負債 | 316 | 328 |
| その他 | 37 | 41 |
| 固定負債合計 | 353 | 370 |
| 負債合計 | 44,070 | 47,869 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,054 | 2,054 |
| 資本剰余金 | 1,984 | 1,984 |
| 利益剰余金 | 21,707 | 22,232 |
| 自己株式 | △1 | △1 |
| 株主資本合計 | 25,744 | 26,269 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 144 | 278 |
| 繰延ヘッジ損益 | 5 | △31 |
| 為替換算調整勘定 | 451 | 473 |
| その他の包括利益累計額合計 | 601 | 720 |
| 非支配株主持分 | 102 | 119 |
| 純資産合計 | 26,448 | 27,109 |
| 負債純資産合計 | 70,519 | 74,979 |

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第2四半期連結累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年9月30日） | 当第2四半期連結累計期間 （自平成29年4月1日 至平成29年9月30日） |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 77,192 | 104,886 |
| 売上原価 | 75,860 | 102,364 |
| 売上総利益 | 1,332 | 2,521 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,019 | 1,019 |
| 営業利益 | 312 | 1,502 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 4 | 5 |
| 受取配当金 | 5 | 6 |
| 仕入割引 | 28 | — |
| 為替差益 | 719 | — |
| 持分法による投資利益 | 16 | 10 |
| その他 | 22 | 4 |
| 営業外収益合計 | 795 | 26 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 59 | 122 |
| 債権売却損 | 7 | 7 |
| 支払手数料 | 8 | 7 |
| 為替差損 | — | 73 |
| その他 | 8 | 9 |
| 営業外費用合計 | 85 | 220 |
| 経常利益 | 1,023 | 1,307 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,023 | 1,307 |
| 法人税等 | 276 | 358 |
| 四半期純利益 | 747 | 949 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 11 | 16 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 735 | 933 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 747 | 949 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △7 | 134 |
| 繰延ヘッジ損益 | 4 | △37 |
| 為替換算調整勘定 | △236 | 22 |
| その他の包括利益合計 | △239 | 120 |
| 四半期包括利益 | 508 | 1,069 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 505 | 1,052 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 2 | 17 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 補足情報

(品目別販売実績)

| 品目別 | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日) | | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日) | | 増減率 (%) | 前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日) | |
|---------|---|------------|---|------------|------------|--|------------|
| | 金額 (百万円) | 構成比 (%) | 金額 (百万円) | 構成比 (%) | | 金額 (百万円) | 構成比 (%) |
| メモリー | 41,341 | 53.6 | 51,086 | 48.7 | 23.6 | 82,917 | 52.9 |
| システムLSI | 15,248 | 19.7 | 25,055 | 23.9 | 64.3 | 28,282 | 18.1 |
| 半導体小計 | 56,589 | 73.3 | 76,141 | 72.6 | 34.6 | 111,199 | 71.0 |
| 液晶デバイス | 12,699 | 16.5 | 21,382 | 20.4 | 68.4 | 28,012 | 17.9 |
| その他 | 7,904 | 10.2 | 7,363 | 7.0 | △6.9 | 17,466 | 11.1 |
| 合計 | 77,192 | 100.0 | 104,886 | 100.0 | 35.9 | 156,677 | 100.0 |

(メモリー半導体)

DRAM、NAND等の価格が高値を維持する中、国内では、PC向けにSSD（ソリッドステートドライブ）およびサーバー・ストレージ向けDRAMの販売がそれぞれ好調であり、中国市場では、スマートフォン向けMCP（マルチチップ・パッケージ）の売上が大きく伸びたため、この分野の売上高は510億86百万円（前年同期比23.6%増）となりました。

(システムLSI)

中国市場でスマートフォン向けCIS（CMOSイメージセンサ）等の売上が大幅に伸び、かつ国内ではタブレット向けDDI（ディスプレイドライバーIC）の販売が好調であったため、この分野の売上高は250億55百万円（同64.3%増）となりました。

(液晶デバイス)

デジタルサイネージ向けの売上が伸び悩んだ一方、モニター向け需要が堅調であったことに加え、国内・中国双方でテレビ向けの販売が好調であったため、この分野の売上高は213億82百万円（同68.4%増）となりました。

(その他)

国内でスマートフォン向け有機ELパネルの売上が伸びたものの、テレビ用バックライト向けLEDの売上が低迷したため、この分野の売上高は73億63百万円（同6.9%減）となりました。